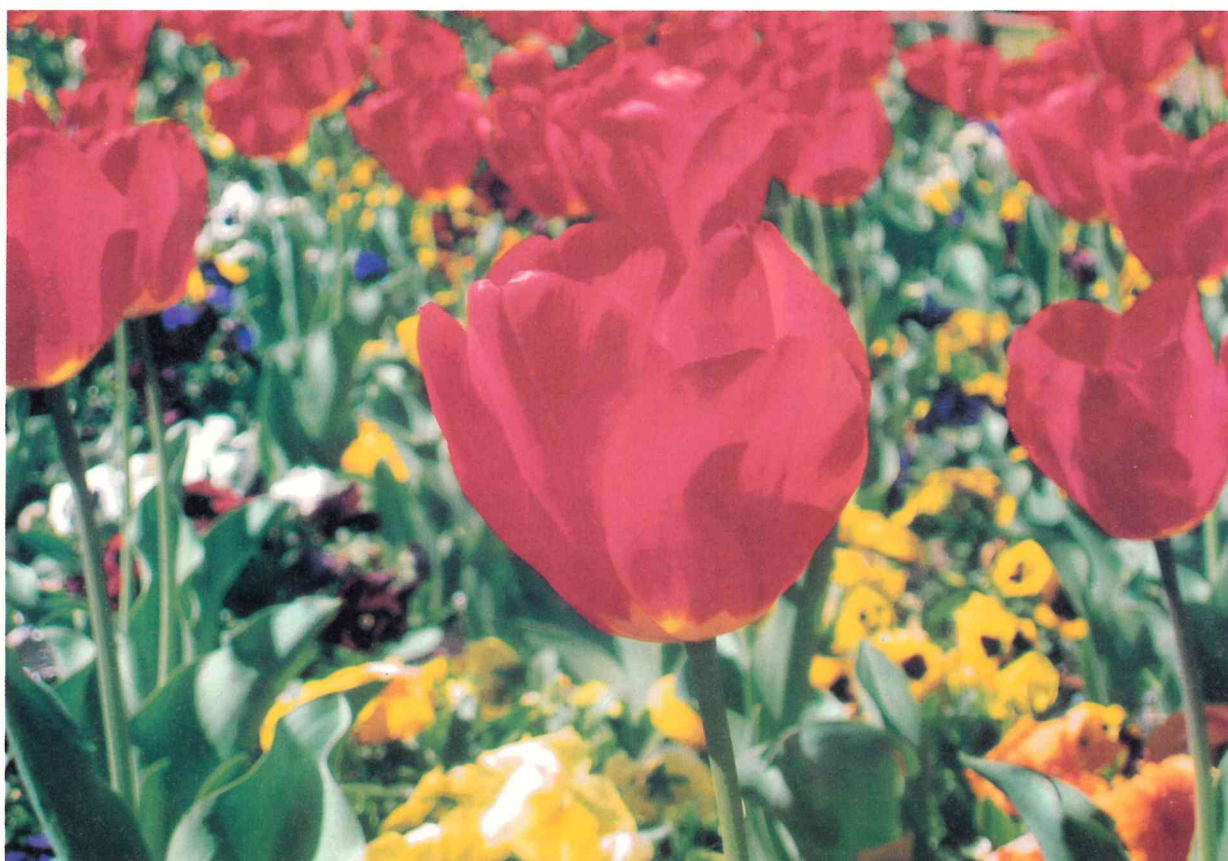


べつぷ 市議会だより

No.55 平成14年5月1日

編集 市議会だより編集委員会
発行 別府市議会
住所 ☎874-8511
別府市上野口町1-15
☎0977-21-1111



別府公園のチューリップ

平成14年度新年度予算など可決

3月定例会は、2月25日から3月20日までの24日間の日程で開かれました。平成14年度各会計予算（一般会計・11特別会計・水道事業会計）をはじめ、別府市立学校の設置及び管理に関する条例の一部改正についてや、別府市コミュニティーセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正についてなど議案41件の審議が行われ、採決の結果すべて原案のとおり可決、同意されました。また、議員から提出されたBSE対策の拡充と改善を求める意見書など3件についても原案のとおり可決されました。

主な内容

主な議決……P2～3

議案質疑……P4

一般質問……P5～7

その他……P8



3 月 定 例 議 会 風 景

主な議決

三月定例会では、予算や条例案件など三十九件が上程され、市長の提案説明に対する質疑の後、所管の常任・特別委員会へ付託されました。

これらの議案は、最終日に、所管の委員長より審査の経過と結果について報告がなされ、すべて原案のとおり可決されました。

続いて、市長から別府市固定資産評価審査委員会委員の選任についての人事案件が追加提案され、原案のとおり同意されました。議決された主な内容は、次のとおりです。

補正予算

◎平成十年度各会計（一般会計第六号、国民健康保険事業ほか六特別会計、水道事業会計）補正予算（原案可決）

今回の主な補正内容は、別府市ワールドカップ受入対策協議会への負担金や別府アルゲリッチ音楽祭実行委員会負担金の追加額を計上、また今回が最終予算のため、各会計とも決算見込額によって、歳入・歳出予算の計数整理を行ったものです。

新年度予算

◎平成十四年度別府市一般会計予算（原案可決）

主な内容として、総務費では行政評価導入を視野に入れ、その調査研究のための経費、「電子自治体」の構築に向けた施設予約システムの開発及びモバイル版ホームページの作成並びに行政事務の効率化を図るための文書管理システムの再構築及び庁内の事務支援システムの開発に係る経費を計上している。

民生費では「地方分権一括法」により、支給の認定等に係る権限が移譲される児童扶養手当に関する経費、児童虐待防止協議会に、組織の強化を目的とした「児童虐待防止ネットワーク委員会」を設置し、関係機関との連携強化を図るための経費を計上。

衛生費では、効率的な収集業務を行うため、ごみ収集車の買替えに係る経費、成人保健対策事業の一環として、新たに「骨粗鬆症」を検診の対象に加え、疾病の早期発見を図るための経費を計上。

商工費では長引く不況の中、中小企業の支援策として低利の融資を行

うとともに、別府市中小企業経営合理化資金の信用保証料を全額補助するための経費、新たな雇用・就業の機会の創出を図るため、国の緊急地域雇用創出特別基金事業の実施に伴う経費を計上している。

土木費では道路の維持管理、市営住宅の整備費など市民生活に直結し生活基盤の安定を目的とした経費について特に重点的に予算配分を行うとともに、スポーツ観光の拠点となる総合体育館建設に要する経費、新野球場の建設費、総合的な土地利用計画を策定するための経費、公営住宅に対する需要の把握と地域の実情に応じた改善計画を策定するための経費を計上している。また、別府駅西口の「青山通り」の全面改修費、国庫補助を受け三年計画で北浜旅館街の道路改修に着手いたします。

消防費では通信指令室の整備費。

教育費では野口原総合運動場を計画的にリニューアルするための経費を計上している。今回の予算編成については経常経費の削減、単独事業の見直し、さらには景気対策関連事業への重点的な予算配分を行っている。◎平成十四年度別府市国民健康保険事業ほか十特別会計予算及び平成十四年度水道事業会計予算

（原案可決）

条例の制定

◎別府市職員の再任用に関する条例の制定について
(原案可決)

定年退職者等の再任用に関し必要な事項を定めることに伴う条例制定
◎別府市立学校の学校医、学校歯科医及び学校薬剤師の公務災害補償に関する条例の制定について
(原案可決)

公立学校の学校医等の公務上の災害に対する補償に関し公立学校を設置する地方公共団体が当該経費を負担することに伴う条例改正
◎別府市法定外公共物の管理に関する条例の制定について
(原案可決)

法定外公共物の譲与を受けるに当たり、その管理に関し必要な事項を定めることに伴う条例改正

条例の一部改正

◎公益法人等への職員の派遣等に関する条例の一部改正について
(原案可決)

公益法人等への派遣職員の給与に

意見書

議員より意見書3件が提出されましたが、次のとおりすべて原案可決され、直ちに関係機関へ送付されました。(原案可決)

- BSE対策の拡充と改善を求める意見書
- 地方バス生活路線の確保を求める意見書
- 小児救急医療制度の充実・強化を求める意見書

手当として特例一時金を支給することに伴う条例改正
◎別府市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正について
(原案可決)

育児又は介護を行う職員の深夜勤務及び時間外勤務の制限の強化並びに介護休暇の取得期間の延長に伴う条例改正

◎別府市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について
(原案可決)

育児休業に係る代替要員の確保措置が設けられたこと等に伴う条例改正

◎別府市雇傭人年金条例等の一部改正について
(原案可決)

「婦」を用いた「保健婦」等の資格の名称を改めること等に伴う条例改正

◎別府市国民年金印紙購入基金条例等の一部改正について
(原案可決)

金融機関の保険事故に対応する繰替運用の規定を整備し当該金融機関における債権・債務を相殺しようとすることに伴う条例改正

◎別府市手数料条例の一部改正について
(原案可決)

戸籍事項の証明手数料を徴収しないものの根拠となる法律の廃止及び題名の改称に伴う条例改正

◎別府市立学校の設置及び管理に関する条例の一部改正について
(原案可決)

南小学校及び浜脇小学校並びに南幼稚園及び浜脇幼稚園を統合しようとすることに伴う条例改正

◎別府市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について
(原案可決)

別府市コミュニティセンターの管理を社団法人別府市観光協会に委託することに伴う条例改正

◎別府市営体育施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

(原案可決)

野口原総合運動場ソフトボール球場、青山運動場等の施設の照明施設使用料の額を改定することに伴う条例改正

◎別府市保育所の設置及び管理に関する条例の一部改正について
(原案可決)

山の手保育所、境川保育所及び青山保育所を廃止することに伴う条例改正

◎別府市介護保険条例の一部改正について
(原案可決)

被保険者の保険料の負担を軽減することに伴う条例改正

◎別府市有温泉施設等の設置及び管理に関する条例の一部改正について
(原案可決)

市有温泉施設に浜田温泉を加えること等に伴う条例改正

◎別府市水道局企業職員の給与の種類及び基準に関する条例及び単純な労務に雇用される職員の給与の種類及び基準に関する条例の一部改正について
(原案可決)

給与の減額の対象となる部分休業を承認する子の年齢が一歳未満から三歳未満に引き上げられることに伴う条例改正

案 疑 議 質

議案質疑は、執行部が提出した予算や条例などの議案に対し質疑を行います。二月二十七日に五名の議員、三月七日に十四名の議員が行いました。そのうち、主な質疑内容を掲載いたします。

別府市コミュニティセンターの設置及び管理に関する条例の一部改正について

問 別府市コミュニティセンターの管理を社団法人別府市観光協会に委託するために、条例を改めようとするものであるとのことであるが、これはなぜ観光協会に委託を行わなければならないのか、その理由について説明願いたい。

答 現在の観光協会は市の庁舎内に事務所を設けているが、手狭ということで、市役所に近い場所に移りたいという要望があり、移転することになったので、併せて、管理委託を行おうとするものです。

問 コミュニティーセンターの各部屋は稼働率が良く、ほとんど満杯状態にあるが、多目的ホールについては、大変使い勝手が悪く、稼働率も

良くない。この施設を単に貸し出すのが目的であるというような、捕らえ方をするのではなく、本来のコミュニティセンターがどうあるべきかというのが大事であり、市民みずから参画をして文化をつくっていくとか、交流の場にするなど、生涯教育を担う中で一番大事な部分がないか、この施設で行われないのか、また、別府にとつて国際交流の場が本当に必要であると思われるので、多目的ホールの施設改善を行い、世界のいろいろな人々に日本の文化を紹介し、いろいろな行事に対し、効果的に使用する企画を本来は市の担当課が担わなければならないのではないか。

答 現在、観光協会の方で企画をいたしているが、たとえば日本の古典芸能を中心とした落語、漫才などが常時この施設を使って行われることにより、観光客の誘致につながるのではないだろうか、さらには市民にも古典芸能の良さを提供できるので、というようなことを現在のところ聞いている状況です。しかしながらこれも最終的なものではなく、こういうものも含めまして、かなり次元の高いものを企画しているというように判断いたしているところです。

別府市介護保険条例の一部改正について

問 議第三十六号別府市介護保険条例の一部改正について、当局から説明願いたい。

答 これは本年四月一日より介護保険の保険料を納めている人に対しまして軽減を行うための条例改正であります。

軽減の対象者は世帯全員が市民税非課税の第二段階の方であります。約一万三千人おります。その中から生活保護基準以下の方を対象としておりますが、現在のところこれらの方々約半数の六千三百人であ

ります。平成十四年度から減免を行いますので、この数字には若干の変動があるのではないかと思っている。金額にしまして、約半数が減額になるとすれば三千万円の軽減ということになります。広報の方法については現在、課税課で個人の収入を確定しているが、その確定が五月になります。介護保険の保険料はその後六月に賦課をいたします。その段階からの申請となります。五月ごろにこの制度について市民の方々に周知を行いたいと思っております。

問 保険料の軽減を行っている市町村の中には、大変厳しい条件をつけて、せっかくの軽減条例を有名無実にしている自治体もございます。別府市としてはどのような条件をつけるつもりであるのかお聞きしたい。

答 軽減対象者の中にも資産があり経済的に余裕のある方もおられると思います。また、資産はなくても家族に支えられている方もいるかと思ひます。一方で資産もなく家族もない、わずかな年金で生活をされている方もいるかと思ひます。これらのことを具体的に判断を行わないまま軽減すると、社会的にも不公平になると考えている。したがってこういことがらを把握したうえで軽減になるかと思ひています。

一般質問

一般質問は、市の行政全般にわたり事務の執行状況や将来に対する方針などを質問するものです。

三月八日から十二日までの三日間、二十五名の議員が市当局の見解をたきました。

主な内容は次のとおりです。

猿渡 久子	黒木愛一郎
平野 文活	松川 峰生
池田 康雄	野口 哲男
野田 紀子	堀本 博行
田中 祐二	高橋美智子
後藤 健介	井田 逸朗
富田 公人	清成 宣明
泉 武弘	河野 数則
岩男 三男	原 克実
江藤 勝彦	内田 有彦
浜野 弘	首藤 正
伊藤 敏幸	朝倉 斉
村田 政弘	(議席順)

W杯サッカーのフリーガン・テロ対策

問 W杯サッカーは世界に別府を宣伝する絶好の機会であるが、フリーガン・テロ問題が発生すると折角のホスピタリティがふいになる可能性もある。外国人観光客の飲食店での

金銭トラブルや街頭での暴動、大分空港発着の航空機ハイジャックによるテロ等多くのトラブルが考えられるが、別府市としての対策はどうか。

答 市民・観光客の安全を第一に考え、関係各機関と連携した対策を取りたい。

浜脇・南小学校統合校校名の件

問 教育委員会は統合校については校名を含めて万全の態勢であったと強調するが、浜脇小の保護者の多くが新校名を求めている署名活動を実施し、多数の署名が集まっている事実からみて、教育委員会の責任は重い。信頼の上に築かれる教育活動なのだから、不信を買うことのない配慮は欠かせない。異論を唱える保護者については、十分その中身を検討して最善の対処をすべきである。

新校名決定は住民合意で慎重に

問 南・浜脇小学校の統合による新校名は住民合意を得られていない。保護者説明会を早急に開き保護者や住民の意見を十分に聞くべき。

答 学校名の変更は考えていない。保護者・地元説明会は検討中である。

問 保育所民営化は公的保育の後退であり保護者に不安の声があり反対。

答 保護者との懇談会で理解を得た。事業系ゴミ収集は柔軟な対応を。条例に則って対応したい。

南小・浜脇小統合問題

問 南小学校と浜脇小学校の統合による新しい校名は、南小学校となるが、その場合の校印、校章、校歌、卒業証書番号などは、どの様な取り扱いとなるのか。

答 校印、校章、校歌、卒業証書番号などはすべて新しくなる。卒業生は一期生から始まり、卒業証書番号は一番から始まることになる。

介護保険制度について

問 先般の保険料軽減の申し入れにより平成十四年度での軽減の実現に感謝するが、今回は第二段階の低所得者のみの軽減になっている。第一段階の老齢年金受給者にも救済措置

を講じて、高齢者が安心出来る保険制度として欲しい。又今後の対策として施設整備と待機待ち解消を計ると共に、介護予防対策を最重点課題として取り組んではどうか。

答 低所得者対策及び施設整備については、次期事業計画で検討したい。

介護保険制度の改善について

問 三月議会に提案の介護保険料減免の対象は。

答 保険料第二段階高齢者約六千三百人。本人からの申請の上、資産や扶養関係等の調査の後、該当すれば第一段階と同額の保険料にする。

問 利用料負担が重く介護度別限度額の四割程度の介護サービスしか受けていない。保険料減免は十五年度以降も利用料減免と共に続け条件を緩やかにして該当範囲を拡げるべき。

介護保険導入で三億円も浮いた

問 平成十一年度と十二年度決算の比較で、介護保険導入により市の一般財源はいくら浮いたか。

答 約二億千四百万円の減額。さらに老人保健特別会計への国保拠出金の減額が二億三百六十四万円で、そ

のうち半分が一般財源となります。

問 結局、約三億三千万円を超える市費が浮いた。保険料軽減の財源は一般会計から入れるべきではないか。

答 軽減財源は保険料で対処します。

社会福祉会館の今後について

問 社会福祉会館は平成六年に福祉の殿堂として鳴り物入りでオープンしたが、施設の使い勝手が悪く、温泉も昨年からは止まり、建物にシロアリが入っていると聞いている。福祉団体からの要望や会館裏の市有地の活用を含め、今後どのように対処するつもりか。

答 各種福祉団体からの陳情を踏まえ真に地域福祉の核となり得るような長期的展望に立った施設の検討をして参りたい。

べっぷ子育て支援計画について

問 べっぷ子育て支援計画（別府市エンゼルプラン）がいよいよ実施に移されるが、べっぷの将来を決する超重要施策である。このプランの成否は全市、全市民を挙げて取り組む必要がある。確固たる信念を持って各種事業の遂行に邁進してもらいたい。

答 この発言を真摯に受け止め関係

部局、現場が一致協力して事業の遂行実現に邁進したい。

楠港埋め立て地を「道の駅」に

問 楠港埋め立て地が冬の花火ファンタジアだけの利用ではもったいない。素通りしていく観光客の足を止める為にも駐車場を整備し、女性客から要望の多いトイレを完備し、「道の駅」として暫定的に利用したらどうか。車を止めて街を歩いてみようといくきつかけにもなり、活性化の起爆剤になる。企業誘致による恒久的な活用の障害にならないよう仮設の施設でも良い。

答 前向きに検討いたしたい。



現在の楠港埋め立て地

温泉プールの跡地について

問 温泉プールの跡地については、脇屋市長時代から種々の計画案が浮上したが実現せず、井上市長になっ

て解体した。この際国際観光温泉文都市の面目に相応しく、図書館・美術館・温泉科学博物館（仮称）、更には福祉会館まで統合した四〇五階建ての総合ビルを建設してはどうか。

答 周辺地の取得を含め今後検討いたしたい。

扇山ゴルフ場にグラウンドゴルフ場を

問 最近ではゲートボールよりもグラウンドゴルフが、健康増進の一環として幅広い年齢層に楽しまれている。場所も取らず管理もそんなに手を取らないと思う。ぜひ扇山ゴルフ場の施設の一部として整備し、特に高齢者向けの観光の目玉として売り出してみたらどうか。

答 昨今の旅行形態の変化により多くの高齢者が国内を旅行されている。このグラウンドゴルフ場が観光客誘致を計るうえでは、効果があると考えますので今後検討いたしたい。

中心商店街活性化 学校区、事業ゴミ問題

問 活性化法に基づくTMOの起ち上げを、近鉄跡地を中心にした基本計画で早急に決定して欲しい。

答 近鉄跡地は市の買収も視野に入れ中心商店街の核として前向きに取

り組みたい。

問 二十一世紀教育改革の中で中学生も学校の選択が出来るよう通学区のバリエーションを取り除いてはどうか。

答 他市の状況を調査し検討課題といたしたい。

問 事業ゴミの未収集はこの時期中止すべき。

市営住宅管理と 住宅管理センター

問 市営住宅の畳や流し台、玄関周りのペンキ等老朽化している所の修理又階段等に手すりを設け入居者の健康と利便性を図れ。又毎月入居出来る様住宅管理センターを設置せよ。

答 畳や流し台ペンキ等については修理の際老朽化した所から取り替えていく。手すりについては三階建て以上は三年計画で整備したい。住宅管理センターについては来年度を目標に条例化する様努力する。

二巡目国体に向けた 取り組みについて

問 青山プールは先の国体で使った物だが、現在飛び込み台がかなり老朽化しており使えない状況にある。プールの深さは十分にあるので飛び込み台を整備すれば、飛び込み競技やシンクロ競技等の選手強化育成の

為の施設として使用出来ると思われるが、整備計画についてどの様に考えているのか。

答 まだ十分に調査を行っていないが、県等と協議し今後の整備を検討したい。

野口原軟式野球場について

問 スポーツ少年団が野口原球場で、市内の野球大会を開催しているが、父母会の方々から観戦しにくいという苦情がある。同時に周辺が未整備であること、金網、本部席、得点表等々を改善できないか。

答 調査を行い、出来るところから順次改善して参りたい。

社会教育主事の増員配置を図れ

問 別府市の社会教育主事は一名、人口が半分の日田市は六名を配置。なぜか？社会教育主事とは、社会教育を行う者に専門的技術的な助言と指導及び社会教育行政の企画・実施に当たり、多発している少年犯罪の要因を占める家庭教育の在り方を始め全ての学習活動を援助する役割の重要職。同主事の緊急増員配置を図るべきだ。

答 まさにその通りと思う。今度の人事異動で出来るだけ公民館等に配

置いたしたいと思ってる。

職員の意識改革について

問 行政改革の推進に「職員の意識改革」と地域参加について

答 市役所は、市民・地域と密接な関係にあるので、職員の地域参加を積極的に働きかけていきたい。

問 提言として、職員のみならず、市長、議員も行革推進のため意識を変えらるべきで、古い体質を持ち続けるならば行革に逆行する。議員定年制の導入なども検討し、議員の意識改革を要望した。

海岸線整備と景観条例について



別府港海岸整備事業が行われる北浜海岸

問 別府港海岸整備事業を国の予算百六十二億円を投資して実施されるが、交通体系の問題、都市景観（特に大型マンション建設計画等）との

整合性等、住民参加型の事業推進をと言われるがその取り組みはどうなっているのか。

答 国土交通省が海岸整備検討委員会幹事会を組織運営、住民アンケート等で意見を聴取して、景観を重視した親水性の高い整備を行います。

自前でPFI事業の推進を

問 民間資金等活用事業（PFI）の活用が全国的に注目を浴びているが、別府市も積極的に取り入れ、更に有名コンサルに頼るだけでなく、自前のチームを作ってはどうか。大阪府にその例がある。

答 時代にあつた有効な手段と考えられ積極的に研究し、将来の別府の施設・社会資本の整備の充実を図るために真剣に考えたい。

備蓄乾パンの海外援助について

問 災害に備えて各自治体は乾パンを備蓄している。「日本外交協会」は世界各地で発生している難民の為、各自治体から拠出された乾パンを外務省と国連機関を通じて、八十三年から〇一年までの十九年間で三十数力国の困っている人たちに合計三千百四十八万食届けている。別府

市も備蓄乾パンを拠出したらどうか。
答 別府市防災計画に基づいた市民の為の備蓄品であるので、今後の研究課題といたしたい。

四月のペイオフの解禁に向けて

問 金融機関決定と経緯について

答 具体策は「別府市資金管理並びに運用基準」の制定と「別府市公金管理運用委員会」の設置の二本柱となっており、「運用基準」の特徴として一点目は自己資本比率を四段階に区分し、二点目は経営状況報告書を年二回提出させ半期サイクルで経営状況を分析する。三点目は監督官庁の動向を見る為、同検査報告書の提出させます。「委員会」の特徴は運用基準に従って、合議し運用を決定する。会議は秘密会といたします。

政治倫理委員会の設置を

問 体育館建設設計策定委員に対して議員の介入があつたのでは。

答 当事者からその様に聞いている。
問 この機会に議員の税金滞納問題、役員をしている会社の滞納、議長車の私的利用、水道局の不能欠損、出張旅費問題を調査する政治倫理調査特別委員会設置を是非お願いしたい。

委員会構成

(○委員長 ○副委員長、議席順で掲載)

委員会名	所 管 事 項	委 員 名
総務文教 委員会 (7名)	行財政・組織・人事・事務管理・消防・ 防災・救急体制・学校教育の充実、社会教育 の推進などについて審査及び調査します。	○池田 康雄 松川 峰生 井田 逸朗 朝倉 齊 ○後藤 健介 高橋 美智子 伊藤 敏幸
観光経済 委員会 (8名)	観光振興・温泉の整備充実、商工業の育 成活性化、競輪場の管理運営、農林水産業 の振興などについて審査及び調査します。	○岩男 三男 吉富 英三郎 清成 宣明 浜野 弘 ○野田 紀子 佐藤 博章 内田 有彦 村田 政弘
厚生 委員会 (8名)	福祉施策の充実、健康の増進と医療・保 険体制の充実、環境・交通対策の推進など について審査及び調査します。	○山本 一成 黒木 愛一郎 佐藤 岩男 河野 数則 ○平野 文活 富田 公人 泉 武弘 原 克実
建設水道 委員会 (9名)	都市計画及び開発の推進、上水道・下水 育・道路整備、公園・緑地の整備、市営住 宅の整備などについて審査及び調査します。	○堀本 博行 野口 哲男 永井 正 江藤 勝彦 矢野 彰 ○猿渡 久子 田中 祐二 三ヶ尻 正友 首藤 正
議会運営 委員会 (9名)	市議会の円滑な運営を図るため、議事の 運営その他必要な事項を協議します。	○矢野 彰 猿渡 久子 高橋 美智子 江藤 勝彦 伊藤 敏幸 ○永井 正 野口 哲男 後藤 健介 首藤 正

百条調査特別

委員会を設置

三月議会最終日に議員より動議が提出され、採決の結果、賛成者多数により総合体育館建設関連及び市税滞納問題等を調査するために百条調査特別委員会が設置されました。なお、この委員会は各会派より選出された十一名により構成されており、委員は次のとおりです。

委員長 富田 公人
副委員長 山本 一成
委員 平野 文活
松川 峰生
池田 康雄
野口 哲男
堀本 博行
後藤 健介
清成 宣明
泉 武弘
江藤 勝彦

傍聴のご案内

- ◆ 本会議はどなたでも傍聴できます。
- ◆ お気軽に議会棟四階へお越しください。
- ◆ 次の定例会は六月上旬に予定しております。



3月議会傍聴席

お願い

政治家が、入学、卒業、就職・結婚・出産などのお祝いや各種会合へ祝儀などの寄付をすることは禁止されています。政治家に、寄付を勧誘・要求することを禁止されています。

人事

次の人が、別府市固定資産評価審査委員会委員に全会一致で同意されました。

- 佐藤 大典氏(再任)
昭和三年七月十五日生
市内実相寺二組二
- 安部 朝男氏(新任)
昭和六年四月二十五日生
市内莊園六組二